



学校だより

令和2年度小川中学校

令和2年4月 9日発行

NO. 1

文責：小林浩一

令和2年度がスタートしました

新入生17名（全校生徒48名）、新任職員5名（全職員18名）総勢66名で今年度の小川中学校がスタートしました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、進級された3年生、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。小川中学校職員一同、校訓「勇猛精進」を精神的な支えとし、教育目標「つよく、やさしく、思慮深く」の姿を実現するために、精一杯努めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

令和2年度 小川中学校 教育目標と重点目標

【校訓】	「勇猛精進」～強い意志によって、油断なく心を集中して一心に進む～
〔学校教育目標〕	『つよく、やさしく、思慮深く』
〔目指す生徒の姿〕	『つよく』…強い意志と体を持ち、最後までやり抜く中学生 『やさしく』…思いやりのある心豊かな中学生 『思慮深く』…自己をみつめ正しい判断と行動のできる中学生
〔令和2年度の重点〕	①「自己を見つめる生活」 ②「確かな学力」 ③「人権学習の充実」

<一学期始業式 校長先生のお話より>



今日から新しい年度、新しい学期が始まります。先ほど、新しい先生方を紹介しました。そして午後には、新しい一年生17名が入学してきます。小川中学校の全てが新しくなって始まります。もちろん、新三年生も新二年生も、三月までの皆さんとは絶対に違います。そして、新二年生には、新しい仲間が一人加わることとなりました。●●●●さんです。

今日から48名での学校生活のスタートとなります。そのスタートにあたり、新三年生の福泉さんより、三つの課題を克服すべく、自分と向き合い、自分を振り返って行動していく一年にしたいとの発表がありました。まさに、小川中学校の学校目標の一つである「思慮深く」を常に意識した日々が始まるとの期待が高まります。

さて、学校の周辺を見ますと、梅の花が散り始め、桜の花に引き継ぎをしています。春のこの時期に桜よりも早く咲く梅を見て、日本画家の小倉遊亀（おぐらゆき）さんは次のように語りました。「私は梅の花が大好きだ。なぜなら、梅の木は年を重ねる毎に、老木になればなるほど美しい花を咲かせるから。」春先に咲く梅の花のありようは、ずっと昔から多くの人々によって称えられてきました。

道元というお坊さんの教えです。

「春が来たから梅の花が咲くのではない。梅の花に誘われて春がやってくるのだ。」

また、江戸時代から明治への新しい時代を切り開いた薩摩、今の鹿児島出身の西郷隆盛も梅の花を通して、私たちに生き方を教えてくれています。「耐雪梅花麗」（雪に耐えて梅花麗し）と。梅の蕾が、梅の木が、冬の冷たい雪に耐えて花を咲かせるからこそ、梅の花は美しいのだと。

皆さんは一ヶ月以上に及ぶ長い長い、自分を問われる時間を過ごしてきました。この間、学校が休業になり、登校しての学習も、仲間と一緒に部活動をすることもできませんでした。生徒会の活動も大きく制約されてしまいました。与えられた時間を、自分の責任で、自分の判断で過ごす日々だったと思います。

雪に耐えた梅が美しく咲き誇るように、自分との時間に耐えてきた皆さんが、今日から美しい花を咲かせるのが楽しみでたまりません。

そんな皆さんに一つお願いがあります。

小川中学校で生活する48名の生徒と17名の先生方には、一人として同じ人はいません。みんな違っていています。違っていいのです。違っていいからいいのです。

- ・走るのが速い人もいれば、遅い人もいます。・体の大きな人もいれば、小さな人もいます。背の高い人もいれば、低い人もいます。
- ・テストで高い得点をとる人もいれば、素晴らしい作品を仕上げる人もいます。
- ・リーダーとして引っ張っていつてくれる人もいれば、気持ちよく協力してくれる人もいます。
- ・部活動で活躍する人もいれば、清掃や合唱、係活動に一生懸命取り組む人もいます。
- ・家族の中に病気の方がいる人もいれば、介護を必要としているお年寄りの方のいる人もいます。
- ・現在、自分自身が体調を崩している人もいます。悩んでいる人もいます。

これが私たちの小川中学校なのです。

一人を大切にできない集団に、クラスに、生徒会に、部活動に、学校に一体何ができるでしょうか。

一人一人を本当に大切にできる小川中学校を、生徒の皆さんと先生方みんなで力を合わせて創りましょう。まったく新しい年度、令和二年度の小川中学校が今始まりました。令和二年度の小川中学校がどんな年になるのかは、スタートの、今、この日、この時、この瞬間にあります。共に励みましょう。

<入学式 校長先生のお話より>



式 辞

今、教頭先生から新入生一人一人、名前が呼ばれました。そして、それに答えて「はい」という返事をする皆さんの凛とした表情から、中学校生活にかける意気込みを感じました。

皆さんの名前。それは生まれてから初めての贈り物ではないでしょうか。そしてその贈り物には、たくさんのお思いと願いが込められています。世の中には同じ名前もあります。しかし、一つ一つの名

前に込められた思いや願いは全く違うものです。この世界の中には、同じ名前など一つもありません。どの名前も世界の中で一つだけの、とてもとても大切な贈り物です。どうか、その大事な自分の名前を大切にしてください。そして、自分の名前を大切にすると同じように、友だちや周りの方の名前も大切にしてください。人の名前を落書きしたり、SNS やネットに投稿したりといったことが、社会の中では大きな問題となっています。お互いの名前、大切にいきましょう。

この次、今日のような形で、この体育館の中で一人一人の名前が呼ばれるのは、三年後の卒業証書授与式の時です。三年後、どれだけ成長した姿で皆さんが名前を呼ばれるのか、とても楽しみです。

改めまして、十七名の新入生の皆さん、小川中学校への入学おめでとうございます。本日は皆さんの入学をお祝いするために、小川村 村長 染野隆嗣様をはじめご来賓の皆様のご臨席いただき、また新入生保護者の皆様もご列席のもと、このように入学式を挙行することができました。新型コロナウイルスの感染拡大が止まず、社会情勢が不安定な中、この入学式挙行に向けてご尽力くださった全ての皆様に、新入生と共に心から感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん。小川中学校はこれまでに五千五百六十五名の卒業生を数え、多くの立派な人々を輩出した歴史ある中学校であります。この入学式には同席することができませんでしたが、進級したばかりの二年生と三年生三十一名、職員十七名が皆さんの入学を心から歓迎いたします。

皆さんの入学を祝うかのように、この佳き日に合わせるかのように、校庭の桜もほんのり赤みがかった色を出して、つぼみがふくらみ始めました。桜の花は、春を表す象徴でもあり、私たちにとっても特別の思いのある花です。雪に覆われた寒い冬を越し、桜の淡いピンクの花びらが春の訪れを、そして新しい命の始まりと生きる事への喜びを感じさせてくれます。

この桜を使って、糸を美しい桜色に染める技術があります。この糸で織った着物は、それはとても美しい色になります。この色は、桜のどこを使って出した色だと思いますか。あの美しいピンク色をした桜の花びらを煮詰めて色を出すのだと思いますが、ところが、この色は、桜の木の皮を使って出した色なのです。あの黒っぽいごつごつした桜の木の皮から、美しいピンク色を出しているのです。更に、この桜色は一年中いつでも出せるものではないのです。桜の花が咲く直前に染めると、何とも言えない美しい桜色を出すことができます。今にも咲き出そうとしている桜の木は、花びらだけではなく、木全体がピンク色になろうとしているのです。

四月、桜の木が美しいピンクの花びらを咲かせるために、一年という時間をかけて木全体がピンク色になろうとしているのなら、新入生の皆さんは小学校での六年間という時間をかけて、中学校での生活で自分を自分の色に染めていく準備をしてきました。今まさに、自分という花を咲かせる時が来ました。この小川中学校で、美しく自分を染めあげてください。決して様々な困難から逃げることなく、桜の花のように、自らの春を自らの手で開いていきましょう。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。私ども小川中学校職員一同、お預かりをいたしました子どもさんの中学校生活がこころゆくものとなりますように精一杯励んでまいります。お気づきになられたこと、ご心配なことなど、遠慮なくご相談いただけますようお願いいたします。

終わりにになりますが、ご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多用のところ、ご臨席を賜りまことにありがとうございました。多くの皆様方に多方面からお力添えをいただいておりますが、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご一同様の益々のご健勝とご発展をお祈りし、式辞といたします。

令和二年四月六日

小川村立小川中学校長 新井孝之



〈全校オリエンテーション〉



〈対面式〉



〈生徒会説明会〉

4月7日（火）に全校オリエンテーション、対面式、生徒会説明会が新入生を迎えて行われました。始業式、入学式は別々でしたので、全校が初めて揃っての行事になりました。密集をさけるため、間隔をあけた中、生活のきまり、学習、清掃、給食、保健室の利用方法などの説明が担当の先生からありました。

1年生だけでなく、2，3年生も緊張感をもって真剣に説明を聞いていました。それぞれ確認されたことを意識して学校生活を送れるといいですね。

午後は、対面式、生徒会説明会が生徒会主催で行われ、2，3年生の掲げる花のアーチを通して新入生が入場したり、生徒会長が暖かい歓迎の言葉を述べたり、1年生の応援をするなど終始暖かい雰囲気で行われました。生徒会説明は各委員会の説明がとても丁寧で分かりやすく工夫されていました。生徒会役員のみなさん準備等ありがとうございました。

職員組織紹介

- ・校長：新井 孝之
- ・教頭：小林 浩一
- ・教務主任：小高 正寛 副教務主任：森本 勲
- ・学年・学級担任

学 年	氏 名		
1 学年	森本 勲	原山 智香子	(山崎俊二)
2 学年	宮下 由美	黒岩 正章	(黒沢美鈴)
3 学年	藤井 健一	小高 正寛	(山口紀子)
4 組	山口紀子		

研究主任	森本 勲	A L T	アン・ラトリッジ
特別支援教育コーディネーター	山口 紀子	校務手	和田 久憲
中中連携担当	山崎 俊二	スクールカウンセラー	竹内千恵子
生徒指導主事	黒岩 正章	学校司書	原 果林
進路指導主事	小高 正寛		
保健主事	藤井 健一	学校医（内科）	小出 眞
人権教育推進教員	宮下 由美	（眼科）	小谷 幸雄
養護教諭	黒沢 美鈴	学校歯科医	高橋 優彰
主任	林 利子	学校薬剤師	金川 和之
技術（兼務）	山上 道夫		

このメンバーで本年度お世話になります。よろしくお願いいたします。